第７１回JABA東京スポニチ大会

予選リーグ戦

2016/3/11　横浜スタジアム

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
東京ガス	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2			7
ＪＲ九州	1	0	0	0	3	0	1	0	0	×3			8

東京ガス

		9	打	安	点	振	球
9		建部	2	0	0	1	3
4		小林	2	1	0	1	1
H		我如古	1	1	0	0	0
R	4	板崎	1	0	0	0	0
3		地引	5	1	2	3	1
D		黒田	5	0	1	0	0
8		坂井	5	1	0	2	1
6	5	村田	5	2	0	1	0
5		柴山	2	0	0	0	0
H		佐々木	2	0	0	0	0
6		中山	1	0	0	0	0
2		山内	4	2	4	2	0
7		濵（政）田	2	0	0	0	2
		計	37	8	7	10	8

0

ＪＲ九州

			打	安	点	振	球
		計	0	0	0	0	0

東京ガス		ＪＲ九州
難波、●岡崎	投　手	川島、菊地、●緒方
山内	捕　手	佐野

山内（満塁）	本塁打
	三塁打
村田	二塁打

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責
難波	4 1/3	21	5	3	3	4	3
岡崎	4 2/3	21	4	5	4	4	1

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責

【特記事項】

１０回よりタイブレーク方式。

先発は難波。その難波は初回、内野失策でランナーを出すと二死三塁からセンター前へ運ばれ、先制される。五回裏、四球と２本の長短打、そしてワイルドピィッチにより２点を追加、０−３。さらに２番手岡崎が犠飛を浴び、０−４と差を広げられる。しかし六回表、４番黒田が内野失策、５番坂井が四球、６番村田が内野安打で満塁とすると８番山内が初球をレフトオーバーの満塁ホームランを放ち、一気に４−４同点に追いつく。さらに９番濵田（政）、１番建部が連続四球、２番代打我如古が内野安打で再び満塁とすると３番地引が粘って押し出しを選び５−４逆転。岡崎は八回裏、四球と２本のヒットで満塁にすると犠飛を放たれ、５−５。緊迫した試合は九回終了同点のため大会規定により十回から選択制打順一死満塁から始まるタイブレークへ突入。打線は３番地引からスタート。その地引は三遊間を破るタイムリーを放ち、６−５。さらに４番黒田の犠飛で７−５。しかしその裏、粘投を続けてきた岡崎が押し出しとタイムリーを浴び７−８サヨナラ負けとなった。これで２連敗となり決勝トーナメントの出場はただれた。